科目コード／科目名 （Course Code / Course Title）	立教ゼミナール2　　新座(Niiza) (Seminars for Students of Rikkyo University 2)		
テーマ／サブタイトル等 （Theme / Subtitle）	環境問題と経済の関係		
担当者名 （Instructor）	野原　克仁(NOHARA KATSUHITO)		
学期 （Semester）	秋学期(Fall Semester)	単位 （Credit）	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング （Course Number）	CMP2240	言語 （Language）	日本語 (Japanese)
備考 （Notes）	2016 年度以降 1 年次入学者対象科目 定員 30 名		

授業の目標（Course Objectives）

環境問題とは何でしょうか。環境問題が及ぼす影響とは何でしょうか。京都議定書からパリ協定へと、世界が目指すものは一体何が変わったのか、経済の視点から考え今後環境問題とどう向き合うべきなのか考える力を身につけることを目標とします。

What are environmental issues? How will environmental issues affect us? In this course, students are expected to learn and discuss the difference of goals between the Kyoto Protocol and the Paris Agreement from an economic viewpoint.

授業の内容（Course Contents）

学生は 3 人の小グループに分かれ、教科書の担当箇所を発表する。各チームは割り当てられ資料もしくはテキストを要約し、発表者がクラスで口頭でその要約を発表するものとします。

Students are divided into smaller groups of three and assigned a part of the document or textbook that they will be in charge of presenting in class. Each team shall summarize their allocated parts, and the presenter shall deliver the summary orally in class.

授業計画（Course Schedule）

1. 講義の紹介と環境問題についての導入
2. 地球温暖化問題とは①
3. 地球温暖化問題とは②
4. 地球温暖化問題とは③
5. 生物多様性の減少とは①
6. 生物多様性の減少とは②
7. 生物多様性の減少とは③
8. 海洋プラスチック問題とは①
9. 海洋プラスチック問題とは②
10. 海洋プラスチック問題とは③
11. 森林減少の現状と課題①
12. 森林減少の現状と課題②
13. 森林減少の現状と課題③
14. 総合討論

授業時間外（予習・復習等）の学習（Study Required Outside of Class）

授業時間外の学習に関する指示は、必要に応じて別途指示する。

成績評価方法・基準（Evaluation）

最終レポート(Final Report)(40%)/出席及び講義への参加態度(30%)/発表のクオリティ(30%)

テキスト（Textbooks）

なし

参考文献（Readings）

その他（HP 等）（Others(e.g.HP)）

注意事項（Notice）